

経営比較分析表（平成29年度決算）

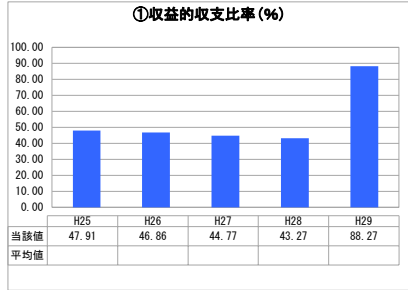
岐阜県 羽島市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	42.56	92.40	2,320

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
68,219	53.66	1,271.32
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
28,913	8.58	3,369.81

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



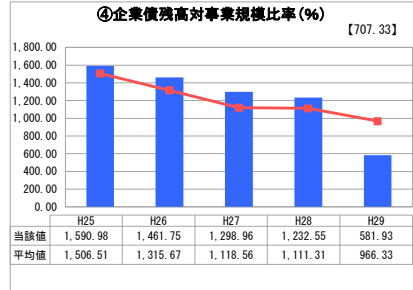
「単年度の収支」



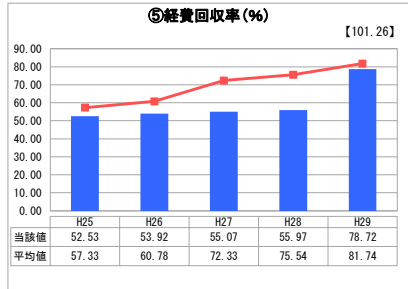
「累積欠損」



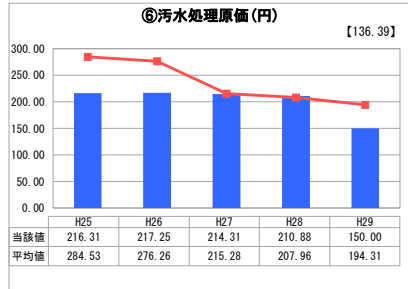
「支払能力」



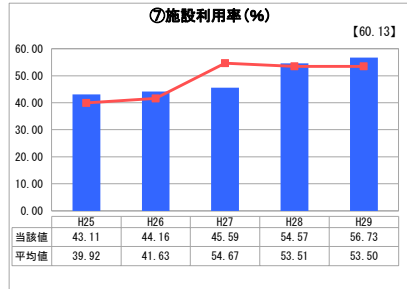
「債務残高」



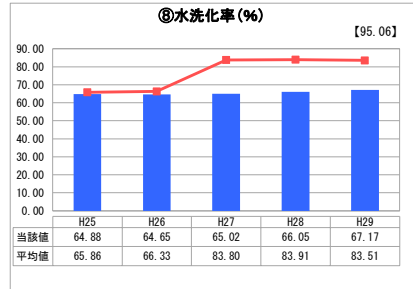
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

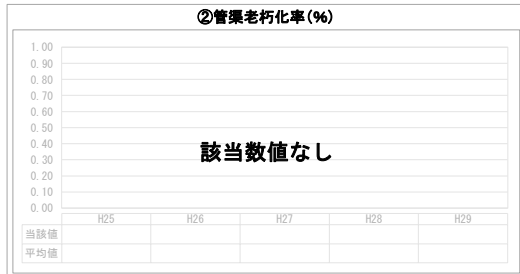


「使用料対象の捕捉」

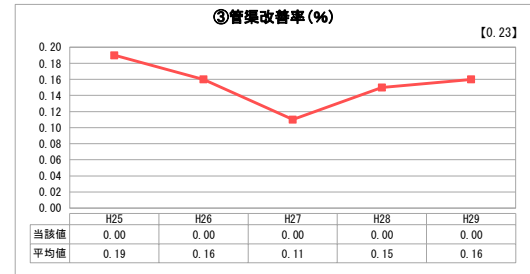
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【収益的収支比率】
一般会計繰入金の基準に準じた見直しを行ったことで、収益的収支比率が上がっているが、一般会計からの繰入金に大きく依存しているため、今後も適度な投資を抑え、効率的な整備を行うことで、収益的収支比率の改善に努めていく。

【企業債残高対事業規模比率】
一般会計負担額を適切に計上したことで、比率が大きく減少したが、依然として使用料収入は少ないため、使用料水準が適切かどうかの検討が必要である。

【経費回収率】
公費負担分を適正に計上したことで、前年よりも数値が上がっている。供用開始後間もないため、接続率が低く使用料収入が少額となっており、一般会計繰入金に依存している状況である。加入促進を行い、接続率を上げていくことで経費回収率の改善を図っていく。

【汚水処理原価】
公費負担分を適正に計上したことで、前年よりも下がっている。今後も接続率の向上による有収水量の増加を図っていく。

【施設利用率】
施設利用率が平均値を上回っているが、今後も管渠の整備を行っていく必要がある。計画的に施設の増設を進めていき、施設効率の適正化を図っていく。
※H25～H27については、他事業との按割合を突合に即して訂正し、分析を実施した。
訂正值：H25=47.80%、H26=48.96%、H27=50.55%

【水洗化率】
供用開始後間もないため、接続率が低い。加入促進を行い、水洗化率向上を図る。

2. 老朽化の状況について

【管渠改善率】
供用開始後間もないため、管渠の更新等は行っていない。耐用年数等から、更新時期を推測し、改築等の財源の確保を図っていく必要がある。

全体総括

公費負担分（一般会計繰入金）を適正に計上したことで、前年度よりも各指標の数値が大幅に改善されている。しかし、実際は一般会計繰入金に大きく依存した経営をしているため、将来にわたって安定的に下水道事業を継続していくためにも、水洗化率の改善による使用料収入の確保や、効率的な整備による起債償還費等の抑制に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。